

同窓会役員より近況報告

私を育ててくれた短高に感謝



同窓会本部理事  
新 部 直 彦  
(第6回卒業)

私が新潟短期大学附属高等学校に入学したのは、昭和三十八年四月です。第六回生です。今年、六十周年を迎える我が母校、新潟産業大学付属高等学校(在学中は、短高と呼んでいました。)にお世話になった三年間を思い出しながら書いています。入学間もない頃の応援練習、応援団の動きと合わない手拍子に何度もやり直しがありません。校舎が比角から安田に移転もありました。悪をしかけて、一週間の停学処分も受けました。二年生のときは、新潟地震があり通学に苦労しました。東京オリンピックを修学旅行の宿でテレビ観戦しました。三年生のときは、進路のことで悩み、親に心配をかけたけど、でも、柿崎町役場に就職が決まり、四十一年四月から六十歳定年までの四十二年間健康で働けることができました。(平成十七年一月市町村合併で上越市になる。)

短高の三年間を終えたときに思いました。いい先生と友達に恵まれ、たくさんのかいことを経験させてもらったと。その経験を大事にしながら職場では先輩の指導を受ける中、どんな仕事や環境にも負けない気持ちで勉強し、一生懸命働きました。労働組合の執行委員長も経験し、若年で管理職に推挙され、多くの職員と切磋琢磨の日々、有意義な仕事がありました。

退職後は町内会長等いくつかの公職を、お世話になった方に汗をかいています。中でも退職と同時に保護司を拝命し、経験のない仕事に戸惑いもありましたが、対象者と向き合いながら、彼らの更生に向けて今日も頑張っています。

今年、産付は還暦、私は古希を迎えます。でも、気持ちはいつても短高生です。

私を育ててくれた短高に感謝、ありがとうございます！

創立六十周年によせて



同窓会本部会計  
小 池 洋 一  
(第9卒業)

創立六十周年おめでとうございます。未だ現役のため、予定が合わず会合に出席できず役員の皆様にはご迷惑をお掛けしています。

九回卒業で六十六歳、小林卓同窓会会長の時以来、同窓会に誘われ、お世話になっています。

同窓会役員になる数年前より有志の声掛けで同級会を行う事になり、約二十五年の間、休む事もなく年に一回、柏崎市内で同級会を開催しています。

当初は、数名でしたが、年々口コミ等で人数も増え現在は二十名から三十名毎年参加者も増え、年齢も忘れ朝方まで騒いでいます。

初めの頃、同級会で遠路、関東より参加の女性が一言、「来年の同級会に参加するため、明日から仕事頑張るね」と帰って行きました。

その一言で今まで幹事共々、地元に残っている皆の協力で継続できたと思っています。また今後も継続して行くつもりです。

関東支部、上越支部、柏崎支部には九回卒業の仲間が同窓会の役員で活躍しています。

折りに触れ、同窓会の存在すら知らない後輩に理解と参加をお願いしているのが小さな積み重ねですが、一番大切かと思いついているのが現状。

今後も同窓会が横の繋がりを大切に更なる発展する事を心より願っています。



発行  
新潟産業大学附属  
高等学校同窓会  
事務局  
〒945-1397  
柏崎市大字安田2510-2  
Tel.0257-24-6644  
Fax.0257-24-0386

第三号発刊に寄せて

同窓会副会長 笹 川 隆 英

(第6回卒業)



同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

平素は同窓会の活動に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が母校も昭和三十三年に開校して、今年で五十九年目を迎えました。

昭和六十二年に新潟産業大学附属高等学校に改称され、開校以来同窓会員も八千余名を数え、日本全国はもとより、海外でも多くの方々が御活躍されております。

また同窓会本部では、平成十六年度に中越支部・新潟支部・関東支部・上越支部・柏崎支部の順に五支部の設立が実現致しました。そして平成十九年十二月五日には、大学・高校・PTA・同窓会の御協力をいただき、開校以来初の創立五十周年記念式典と記念祝賀会を挙行了いたしました。早いもので、平成二十九年には創立六十周年を迎えます。

この十年間で母校では、歴代の校長先生をはじめ教職員の方々や学校関係の皆様方の御尽力が着実に実を結びはじめ、スポーツに勉強に《部活で燃えろ、進路で輝け！》を合言葉に後輩達は目標に向かって

“学習力”と“競技力”を高めて頑張っております。

スポーツでは、国体やインターハイに出場者を毎年三十名以上送り出してあります。県内高校のインターハイ出場者数では、県内トップクラスと聞いております。

進学では、センター試験受験者が毎年六十名以上受験しております。また、今春卒業した生徒の進路状況は、四年制大学・短期大学の進学率では全体の六十六・二%で、柏崎地区の県立高校を追い抜く勢いで迫ってきています。合格実績でも国公立大学及び私立大学の難関校に多数合格し、県内の進学校としての地位をしつかり固めてきております。

現在同窓会本部では、学校・PTA後援会・OBの皆様に御協力を頂きながら【六十周年事業実行委員会】を立ち上げ進めている所です。来たる平成二十九年の六十周年記念式典には、先輩・級友・後輩・恩師の方々との親睦を図り、同窓の絆を深めて頂きたいと思っております。

最後に会員各位の御協力、御支援をお願い申し上げます。【友垣】第三号発刊の御挨拶とさせていただきます。

創立60周年 記念事業

母校の創立60周年記念事業が、今年の10月27日(金)に挙行されます。多くの同窓生にお集まりいただき、創立60周年をお祝いいただきしたいと思います。また、高校時代の恩師を囲みながら、思い出を語らっていただきたいと思います。詳しい情報は、母校のホームページに掲載する予定ですので、そちらをご覧ください。



平成29年10月27日(金)

14:00～15:00／記念式典  
15:15～16:30／記念講演  
※講師未定

会 場 新潟産業大学附属高等学校  
体育館

17:30～19:30／懇 親 会

会 場 メトロポリタン松島

※現時点での予定ですので、各開催時間が変更される場合がございます。



昨年、全国高等学校駅伝競走大会で  
大健闘した陸上競技部女子

あとがき

「後悔しないよう、できる時にきちんとやっておきなさい」私は授業の度、生徒によくこう言います。一つの物事を成し終えたときに「あの時こうすればよかったなあ」と思うことはありません。

私自身、高校時代や大学時代を振り返ると、いろいろなことをやればよかったと、今更ながら後悔することがあります。生徒には後悔してほしくないからこそ、口を酸っぱくして言うものですが、次第に自分への戒めのように聞こえてきます。

現代を生きる若者には、やるべきことを一生懸命やることで多くの経験を積み、後ろを振り返らないかっこいい生き方をしてもらいたいです。



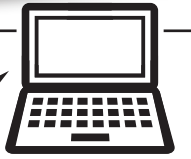
がんばれ! 在校生。

同窓会も皆様の未来を応援しています。



同窓会ホームページを只今準備中!!

後日、母校のホームページにて  
ご案内いたします。乞うご期待!





# 同窓会総会レポート

昨年十一月十九日(土)、柏崎市鯨波「メトロポリタン松島」におきまして、同窓会総会が開催されました。当日は約四十名近い同窓会員からご出席を賜り、各支部の活動報告から始まり、どのような活動をしなければならないのかを協議しました。

講演会ではブルボンウォーターボロクラブ柏崎から青柳勸様をお招きし、「水球を通しての地域活性化」と題してご講演をいただきました。青柳様の海外経験で培った競技力でのように水球を強化するのか。また、地域を巻き込む行動力で、柏崎の地をどのように活性化をさせていくのかをお話いただきました。チームに所属する選手は地元企業に勤務し、仕事と水球競技を両立させているそうです。チームの勝利で地域を盛り上げ、「水球のまち」として柏崎市の活性化を図ったといえます。

青柳様には、水球を通し、柏崎をさらに盛り上げていただきたいと思います。附属高校にお



平成28年11月19日(土)  
柏崎市メトロポリタン松島にて

いても、水球の選手が続々入学し、水球部としての活躍が期待されます。ご声援を宜しくお願いいたします。

そして、懇親会では青柳様を囲みながら、美味しい食事とお酒で有意義なひと時を過ごしました。懇親会の最中では、プレゼント抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。

今秋開催される六十周年記念事業では、さらに多くの同窓会員の皆様より出席を賜りますようお願い申し上げます。

## 各支部だより 関東支部

### 関東支部長退任にあたり



前関東支部長  
曾田 成則  
(第7回卒業)

一九六四年四月の高校入学以来から、ずっと私の心のどこかに、燃っていたコンプレックスから解放されたのは卒業から数えて三十七、八年を経過した頃であった。

同年二月、公立高校受験に失敗した私は、当時失意の中で、私立新潟短期大学附属高等学校(旧名)の門を潜ったわけだが、行内ではなんの問題を生じなかったが、それ以外の場所では、常にコンプレックスの塊が、私の心の中に、付きまといつていた。

その解放のキッカケを作ってくれたのは、高校の同期でもあった、当時本部同窓会会長の入沢徳明氏の電話からであった。

「高校が創立五十周年を迎えるので、その前になんとか関東支部を立ち上げ、支部長をやつてくれないか」との事であった。

確かに高校を卒業してから長い期間、母校に對する思いは、この年齢になるまで、少しはOB

### 皆様お元気でしょいか？



前教諭 五十嵐 義明

私は今年、長い間お世話になりました新潟産業大学附属高等学校(旧新潟短期大学附属高等学校)を退職いたしました。私が最初に勤務いたしましたころは、新潟駅から毎朝学校まで「朝食のおにぎり」と「昼食のお弁当」の二食を持って登校する生徒さんもので驚かされました。また、それよりさらに遠方の生徒さんは、学校周辺の下宿先で生活するか、学校の寮で生活をしていました。これでは生徒さんも大変ですが、保護者の皆さんも心配だろうと思ひ、週末や長期休みなどを利用して、遠方の生徒さんの自宅へ家庭訪問に行つた



### 雑記―退職にあたり

教諭 坂井 公史

同窓生の皆様、長い間たいへんお世話になりました。思い起こせば、縁あってこちらに勤務することになってから三十数年が経ちました。最初はクッソ生意気な若造教師も現在はその辺の近所の爺さんになつてしまいました。私は、自動車の免許は持っていたのですが、運転不慣れのため、勤めて一年間は電車通勤で長岡から通っていました。その当時三年生だった丸山直文君(現・武蔵野美術大学教授)と帰りが同じ方向駅裏だったので、知り合いになり、それが縁で奥様と同伴で長岡で再会することができました。その際、彼からいただいた「作品集」は、学校の図書館に保管してあります。そのときの三年生は優秀な生徒が多く、テスト前にヒントをあげすぎると、半数以上が百点を取つてしまうくらい定期考査にかける気持ちが強かつたように記憶しています。今まで、生徒に昔話が多すぎると言われましたが、「良き卒業生と生徒たち」に支えら

れて、本当に素晴らしい教員生活を過ごせたと思います。

最後に、同窓会のことを書きたいと思ひます。今まで、まったくといっていい程動きのなかった同窓会を組織作りから、会則の改定、実際の活動としての支部会、総会まで、やり方に賛否両論はあるかと思ひますが、入澤徳明氏の功績に違いないと思ひます。彼は市議会議員でありながら、東京・佐渡・新潟・弥彦・地元柏崎と、何度となく会を開催し、現在につながっている訳です。私は、その大半に同行しましたが、彼の細やかな性格や人間的な魅力に接することができて、たいへん感謝しています。

私は、校長の意向により同窓会の担当をはずれ、最近の同窓会の活動状況はよく把握していませんが、関東支部以外は休止状態のような気がします。同窓会の経費も使いましたが、それ以上、何倍もの精神的な負担を強いられたこの同窓会組織を守つていつて欲しいと願っております。

## 退職されている先生方

いろいろとお世話になり、ありがとうございました！

|         |         |
|---------|---------|
| 五十嵐夷廣先生 | 佐藤 恒雄先生 |
| 五十嵐義明先生 | 高橋 進先生  |
| 池島 甲二先生 | 徳間 正一先生 |
| 池田 正之先生 | 中村 コウ先生 |
| 岩下 杜之先生 | 原 幸仁先生  |
| 杵渕まり子先生 | 山田 茂雄先生 |
| 駒野 哲人先生 |         |

※同級会などで先生方の住所を知りたい場合は  
同窓会長までご連絡ください。

## 就任のごあいさつ



はじめまして、今後とも  
よろしくお願い申し上げます

教頭 関矢 学

はじめまして、教頭の関矢等と申します。今年で三年目です。同窓会の幹事の方々には何度かお会いしていますが、一般の会員の皆様にはお会いすることもなく、こうして文書でご挨拶させていただきます。よろしくお願ひいたします。

私は四月現在六十一歳になりました。出身は、柏崎市藤橋(新潟工科大学のある所)で育ちました。附属高校から車で十分もかからないところです。いつも米山さんを仰ぎ、高校に自転車を通つたものです。

当時は、雨が降ればバスか、徒歩で一時間近くかかって登校したものです。今のようには車で送ってもらうということはありませんでした。農家でしたので、田植えや稲刈りの農繁期には人手としてあてにされていました。ちょうどその時期は中間考査でいらした時期を送つたことをよく思い出します。私と同じ経験をお持ちの会員の方も多いと思います。

大学卒業後、初めて教壇に立つたのが産附の前身であります新潟短期大学附属高等学校です。当時は短附と呼ばれていました。今は亡くなりました内山先生のもと、野球の顧問をしていました。その時の教え子に副会長(柏崎支部長)三井田誠様が一年生にいたことを思い出します。若かったこともあり、毎日毎日、生徒と濃厚な付き合いをしていました。もちろん、今は火事で焼失した寮もあり、舎監でよく泊まったものです。楽しい思い出ばかりです。今は教頭という立場でありますが、当時愛した短附同様、産附を愛し、奮闘しています。同窓会の人たちと心を一つにして産附を良い学校にして行きたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



平成28年10月22日(土)  
東京・東海大学校友会館にて

### 関東支部長就任にあたり



関東支部長  
今井 茂男  
(第13回卒業)

十月二十二日関東支部総会に於いて、曾田支部長から支部長を引き継いだ十三回卒の今井です。曾田さんとは、学校創立五十周年事業(元校長五十嵐夷廣氏)に向けての関東支部立ち上げから、今まで大変お世話になりました。曾田さんが居なければ関東支部はここまでこれなかったと思います。

思い起こせば、支部役員の中にあつた今とは違つた学校のイメージ(私はこの部分の話が出来たので良かった、また毎年一回の総会中は支店立ち上げ総会時の参加者に達せず、続ける事に意味がある。一人でも増えることをよししよう)と、毎年の企画は試行錯誤しながらも続けられたことは曾田さんのお陰です。有難うございました。さて支部長就任にあたりですが、今までの考え方を置きながら、どうしたら同窓会会員が集まるかを支部役員と共に考え行動して行きたいと思ひています。

最近では、以前TDL33行事を行った事が、再度行きたいという声に曾田さんが応えてくれました。